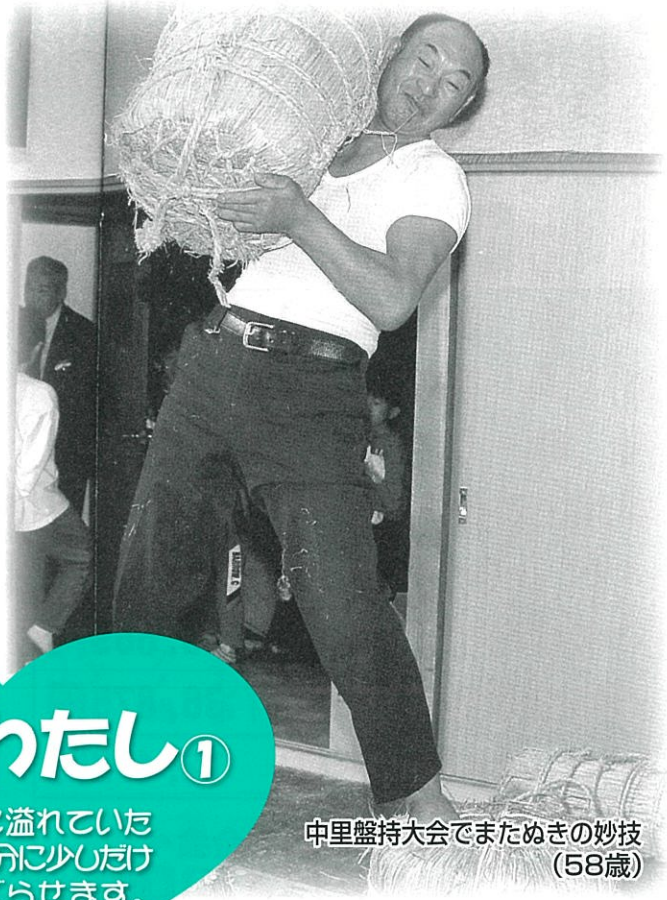




吉田輝雄さん
(78歳)

高校のころ家業である農業を生涯の仕事と決め、父の背中を追いかけて来た。

「農業からたくさんのことを学び、いまの自分があると感謝しています」と笑う輝雄さんの力強い言葉が印象に残りました。



中里盤持大会でまたぬきの妙技
(58歳)

青春グラフィティ あの時のわたし①

夢や希望に溢れていた
若き日の自分に少ひだけ
思いをめぐらせます。



茶道に出会った頃 (18歳)



野田啓子さん
(85歳)

母の勧めで茶道と出会って66年、いまも茶道の指導に詩吟などに忙しい日々を送っています。

「茶道は私の生きがい、そして私の人生そのものです」と話す啓子さん笑顔が素敵です。

くりやま 社協 だより

2016.3.1 発行 第102号

- 共同募金、歳末たすけあい運動実績報告……………2、3
- 事業報告（ボランティア）……………4、5
- 社会福祉協議会からのお知らせ等……………6



▲ネットワークマーとメッセージカードをプレゼント！（継立）

高齢者に手作り手芸品をプレゼント

12月24日（継立サロン：44名）、1月12日（南サロン：12名）の参加者に栗山高校の「生活と福祉」を選択する3年生19人ひとりひとりが手作りしたネットワークマーとメッセージカードを手渡し、レクリエーションにも参加して交流しました。サロンの参加者からは「手作りの素晴らしいネットワークマーをいただき本当にありがとうございます。皆さんの顔を浮かべながら使いたいと思います」とお礼を伝えていました。生徒からは「高齢者の方と関わることが少ないので、このような交流ができてとてもうれしいです」と笑顔で話していました。



ロン号の誘導でスムーズな歩行体験

体験した生徒からは、「障害物があってもちゃんと誘導していたし、道の狭くなっている場所では止まって危険を教えていたりしてすごいなと思いました。困っている視覚障がい者の人が居たら積極的に声を掛けてあげたいと思いました」との声が聞かれました。



盲導犬と視覚障がいについてお話をいただきました

1月26日、栗山高校の「生活と福祉」を選択する3年生19人を対象に、視覚障がい者と盲導犬について学ぶ福祉学習が行われました。講師に公益財団法人北海道盲導犬協会の西川依子（よりこ）さんと盲導犬（ラブラドルレトリバー）のロン号を招き、視覚障がい者の移動手段や盲導犬になるまでの訓練内容、役割などの説明と盲導犬ロン号との歩行体験をしました。西川さんは「ハーネスを付けている盲導犬を見かけても、声を掛けたり触ったりしないでください。また、盲導犬を使用している場合、何かお手伝いする視覚障がい者に気づいた際は、何かお手伝いすることはありますかと声を掛けてあげてください」と話されていました。

視覚障がいと盲導犬を学ぶ

〜栗高福祉学習「生活と福祉」を選択した19名〜



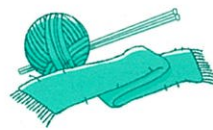
子どもたちにながるやさしい心



レクリエーションに参加して交流（南）



帰るときに早速、着用していました（南）



やさしさという味付けが好評です。🍀

あなたもボランティアに参加しませんか



1人暮らしの高齢者宅などへの配食サービスの調理ボランティアを募集しています。現在は約50名のボランティアさんが活躍中です。どなたでもご参加いただけますので、興味のある方はぜひ下記までご連絡ください。

実施日 毎週 水・木・金曜日 午前8時半から午前10時半位まで（祝日休み）
（4.5名の班編成により月1回程度）

場所 総合福祉センターしゃるる2階 調理室
問い合わせ先 町社協 担当：小野

みんなのたまり場 まちなかケアラースカフェ 「サンタの笑顔」

・さまざまな世代の方の交流の場となっています。

●場所

栗山町中央3丁目(役場前) いきいき交流プラザ

●営業日・時間

月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

(日曜・祝日は休館)

※カフェメニューの提供 午前10時～午後4時

●電話 0123-72-7889



町民ケアラーサポーター が訪問します

日本ケアラー連盟の研修を終えられた町民のケアラーサポーターが、「命のバトン」設置世帯を訪問します。

命のバトン～救急時に必要な情報(医療機関・持病・緊急連絡先など)を、保管ケースに入れ冷蔵庫に保管するものです。

もし、自宅で具合が悪くなり、本人または駆けつけた人が救急車を呼んだ時に救急隊員が活用します。

町内会・自治会役員さん、地区の民生委員さんを通じて申しいただき、無料で配布します。



命のバトン



ご厚志ありがとうございます

平成27年11月21日以降

平成28年2月20日までに寄せていただいた方

●金一封

- 八森 勇様(南角田) より母の逝去に際して
- 則武 節 子様(角田) より夫の逝去に際して
- 八田 和彦様(杵臼) より息子の逝去に際して
- 栗山地区連合会(古山季紀会長)様より社会福祉事業へ
- そらち南農業協同組合
- (大友伸彦代表理事組合長) 様より社会福祉事業へ
- (株)メリーワーク
- (大友伸彦代表取締役社長) 様より社会福祉事業へ

●物品

- ◆北海道コカコーラボトリング(株)(本社:札幌市清田区佐々木康行代表取締役)様よりシユース33箱(594本)を左記の社会福祉施設等へ
- ※平成10年度より通算18回目の寄贈となります
- ・ 知的しょうがい者通所授産施設ハローENJOY
- ・ 特別養護老人ホームくりのさと、彩
- ・ 介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま
- ・ 養護老人ホーム泉徳苑、一草庵
- ・ (株)志援 介護付有料老人ホームサンヴェレッシ栗山等
- ・ (株)クオス デイサービスセンターやまぼっし等
- ・ プロケアすばる デイホーム
- ・ ワークセンター栗の木
- ・ ワークハウスひだまり
- ・ 栗山いちい保育園
- ・ 栗山めぐみ幼稚園
- ・ 継立まつば保育園
- ・ くのやま手話の会

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

平成28年3月1日発行

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

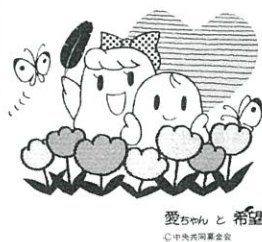
〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL(0123)72-1322

FAX(0123)72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受け作成しています

編集後記

今年には雪が少なく、除雪による体の疲れがないのは助かっています。食欲は落ちないものですね。例年家族で楽しむスキーは、雪が原因で楽しめず、受験生を抱える我が家にとっては、今年が行けずに終わりそうです。我が家も流行にもれず、インフルエンザにかかってしまい、病院通いに。皆さんは大丈夫でしたか？健康が一番ですね。運動と食事に普段の予防の大切さを再確認したところです。